

第4次厚真町総合計画 実施計画シート

事業名	野生鳥獣対策事業	担当課	担当グループ	作成者(職・氏名)
		4 産業経済課	43 林業水産グループ	主幹 渡辺 洋平

実施計画年度(期間)
R 3 年度 ( R3 ~ R5 )

事業評価対象年度
R 2 年度

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成 28 年度	事業主体	会計区分	予算科目						
	事業終了年度	令和 7 年度			1	町	1	一般	06	02	03
事業の性質	法令に基づく選択的事业				条例等の有無		有				
根拠法令・規程計画等	鳥獣保護法、外来生物法、熊防除隊対策要綱										
総合計画	基本目標	3	みのり豊かなあつま								
	基本施策	10	林業の振興								
	施策項目	102	被災森林の機能回復と適切な森林管理の推進								
	復旧・復興計画	99	その他								
	総合戦略	99	その他								
政策展開方針 (R2~R6)	大項目	9	その他								
	中項目	9	その他								
	施策項目	9999	その他								

2 事業概要 (Plan)

事業の目的	野生鳥獣による農業被害が増加していることから「防除」と「捕獲」を実施して被害の軽減を図る また、ヒグマに関しては人畜に被害を与える恐れがあるので、適切に有害個体を見極め、「駆除」を行う。
事業の内容 (手段・方法等)	狩猟団体への補助、ヒグマのうち問題個体の捕獲、アライグマ殺処分に必要な経費の支払い
対象	狩猟団体、野生鳥獣被害を受けている厚真町住民
成果目標	野生鳥獣による農業被害の軽減、人畜に対する被害の防止

3 実施結果 (Do)

① 事業費

単位：千円

事業費の推移	H28 (前期1)	H29 (前期2)	H30 (前期3)	R1 (前期4)	R2 (前期5)	R3 (後期1)	R4 (後期2)	R5 (後期3)	R6 (後期4)	R7 (後期5)
	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画
事業費	738	937	691	1,450	1,456	1,792				
特定財源	国支出金									
	道支出金									
	町債									
	その他									
一般財源	738	987	691	1,450	1,456	1,792				
人件費 (@4,000*時間数)	282	480	282	568	492					
積算根拠	熊駆除囑託ハンター保険料 153 講師等謝礼 51 熊捕獲謝礼 150 熊駆除出動謝礼 473 公務協力者等費用弁償 164 消耗品 137 煙火消費保安手帳更新手数料 2 野生鳥獣処分手数料 142 野生鳥獣処理委託料 103 システム使用料 25 有害鳥獣駆除協力団体補助金 56 熊駆除囑託ハンター保険料 153 講師等謝礼 51 熊捕獲謝礼 150 公務協力者報償 527 旅費 7 公務協力者等費用弁償 176 消耗品 256 煙火消費保安手帳更新手数料 3 野生鳥獣処分手数料 144 野生鳥獣処理委託料 77 システム使用料 25 備品購入 88 有害鳥獣駆除協力団体補助金 135									
主な年次計画 (取組)										
ヒアリング 指示事項 ※企画調整G記入欄										

② 実績・成果

指標名称(前期)		H28(前期1)		H29(前期2)		H30(前期3)		R1(前期4)		R2(前期5)		R3(後期1)		R4(後期2)		R5(後期3)		R6(後期4)		R7(後期5)		
		数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	
主な活動指標	アライグマの駆除数	目標	500	頭	500	頭	500	頭	500	頭	500	頭	500	頭	500	頭	500	頭	500	頭	500	頭
		実績	414	頭	398	頭	426	頭	464	頭	604	頭										
		達成度	83	%	80	%	85	%	93	%	121	%		%		%		%		%		%
	※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する																					
	ヒグマの捕獲実績		1頭		3頭		0頭		4頭		5頭											
主な成果指標	アライグマによる農業被害	目標	-	千円	-	千円	-	千円	-	千円	1,150	千円	1,150	千円	1,150	千円	1,150	千円	1,150	千円	1,150	千円
		実績	47	千円	1,040	千円	1,006	千円	1,659	千円	1,596	千円										
		達成度	-	%	-	%	-	%	-	%	72	%		%		%		%		%		%
	※数値化できない成果や指標の変更等について記載する																					
	ヒグマによる人畜への被害		なし		なし		なし		なし		なし											

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	野生動物による町民の被害を軽減することが目的であり、町が実施主体として行うことは妥当であると考えます。
有効性	期待された成果が得られたか?	A	ヒグマについては、北海道の有害個体判定基準に基づき、有害個体を判定して駆除を行っており、成果を上げていると考えます。アライグマについては、令和2年度に農業被害額軽減の目標を設定し、捕獲に取り組んでいることから、有効であると考えます。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	A	コスト面については、過去に捕獲個体を処理するための搬入先を見直すなどの取り組みを行っており、効率性があると考えます。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等 (Action)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
理由	アライグマの捕獲数は厚真町も含め、全道で増加している。一方で、アライグマによる農業被害額は、全道では増えているが、厚真町では令和元年度の被害額に対し、令和2年度はわずかに減少している。捕獲頭数の目標は現状を維持するが、今後の捕獲頭数、農業被害額も踏まえた検討も必要であると考えます。				
課題および改善提案	町内在住狩猟者の高齢化及び数の減少が心配される。有害個体となったヒグマの駆除に支障が無いよう、農業グループと一緒に担い手対策を検討していきたい。				

※予算・サービスは「継続(拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択する。

6 内部評価 (本欄は、内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持	意見
						野生鳥獣による農業被害を軽減し、農業経営の効率化、生産基盤の強化に資することから、現状維持による事業継続が妥当である。

7 外部評価 (本欄は、外部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

評価実施年月日	R 3 年 10 月 29 日	予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	縮小
付帯意見(全体意見)	○エゾシカ被害防止対策事業と一体化する等、事業のスリム化を図ること。 ▶以上から、予算・サービスは現状維持としつつ、類似事業と統合する等の方向性とするのが望ましい。						
その他意見(個別意見)	○ヒグマ対策について、ヒグマが人の生活圏に出没することを予防する等、ヒグマの「問題個体化」を未然に防ぐような「予防的観点」も加えた取組についても検討願いたい。						

8 外部評価に対する町の考え方

回答年月日	R 4 年 2 月 18 日
付帯意見に対する回答	○現在、町、土地改良区、厚真町鳥獣被害対策協議会においてそれぞれが活用できる予算を用いて、互いに協力しながら野生鳥獣対策に臨んでいるところです。事業のスリム化については、現在よりも効果が上がる対応が有るか関係部署と検討していきます。
その他意見に対する回答	○「問題個体化」する大きな要因として、ゴミや収穫されなかった農作物を食べ、その味を覚えてしまうことがあげられます。ゴミや収穫されなかった農作物の取り扱いについて町民向けの勉強会等でもより取り上げるなどして「予防的観点」を加えた取組になるよう努めます。また、専門家にもどういったことが「予防的観点」を踏まえた対応となるか意見を聞いて対応を検討していくよう努めます。